

Web スクレイピングしたデータを QGIS に適 したフォーマットに変換するツールの開発

平松 楓也

富山県立大学 情報基盤工学講座

September 2, 2020

背景

昨今，人々の生活に多大な影響を及ぼしているコロナウイルスの伝播する様子を視覚的に表現するツールとして QGIS(Quantum Geographic Information System) が用いられている．一般的に QGIS は国や地方が公開しているビックデータを使い地図上に視覚的に表示することに使われている．しかし，QGIS に適した形式のデータを探すことや変換するには時間や手間がかかる問題がある．

目的

ある事柄に対する情報を Web から自動で収集し QGIS に対応したデータに変換するツールはまだ開発されていない．そこで，本研究では，Web スクレイピングしてきたデータを QGIS に適した形式のデータに変換するツールの開発を行う．

はじめに
この研究でやる
こと
おわりに

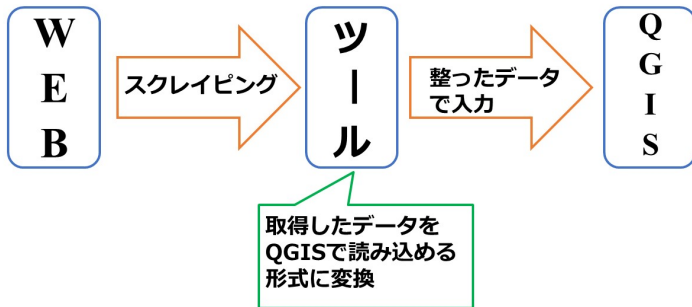


図 1: 全体イメージ

できている事

- ① Web スクレイピングの技術. 山元さん, 小野田さんが過去にやったものを参考にできる
- ② QGIS はフリーソフトなので誰でもインストールして使える

課題

- ① Web スクレイピングしてきたデータを QGIS で読み込めるデータの形式に変換すること

- ・ shape ファイル, ベクタデータのの一種
- ・ KML ファイル, google earth とかに使われている 3D のデータ

拡張子	説明
shp	図形の座標が保存
dbf	属性の情報が保存
shx	shpの図形とdbfの属性の対応関係が保存

図 2: shape ファイルの構成

現状

- ・ QGIS はインストールが終わったところでまだ実際に簡単に使ってみれていない
- ・ 山元さんの Web スクレイピングのプログラムが起動できる状態にはなったが図が更新されないので現在直している最中である.

まとめ

- ① QGIS に研究テーマが変わった
- ② shape ファイルの特に dbf, shx について勉強し，変換する方法を考える
- ③ 山元さんがやっていたプログラムを今週中には直す